

大雪だって笑顔で一掃!

高校生が除雪ボランティアで地域貢献

厚別東地区各種団体交流会・まちづくり会議では、安心して暮らせる地域づくりの一つとして、北星学園大学附属高等学校の協力により、年に1回、町内会の防災資機材庫や、独居高齢者宅の除雪をしています。昨シーズンは雪が少なく中止となったこの活動ですが、今シーズンの降雪量は例年にない多さで、野球部の皆さんの力が大いに発揮されました。



学校前での出発式。いざ活動へ!

ため息交じりに話されていました。そこを野球部の皆さんがやりはじめると、20分もかからないうちに、きれいに階段が見えるようになりました。女性も「本当に助かりました。ありがとうございます。」と喜びと安堵の表情でした。

資機材庫前も、あっという間に除雪が完了です。「いつもグラウンドを除雪しているから、それに比べたら楽ですよ」と笑顔の皆さん。予定していた除雪箇所だけでなく、ご近所で除雪をしている高齢の方のところにも率先して手伝いに向かっていました。「自分たちにできることなら!」と楽しそうに除雪をしている生徒の皆さんに、手伝ってもらい、さらには元気をもらえるこの活動。厚別東地区で、地域と学校がつながる大切な機会となっています。

活動日となった1月31日も厚別区には約30センチの降雪がありました。大雪で視界も悪く、移動するための道路も狭くなっていったことから、生徒の安全を優先するため活動範囲は縮小することとなり、野球部の寮もある、もみじ台通り町内会で除雪を実施することになりました。軽い雪とは言え、膝くらいまで積もっている状況です。80代の女性は「いつも自分なんとか雪かきしているけれど、これくらい積もると2時間くらいはかかるわね」と少し



北星学園大学附属高等学校の、野球部やサッカー部の皆さんが除雪ボランティアをするこの活動は、札幌市の「いい人、いい街#まいにち金メダル」プロジェクトで『金メダリスト』に選ばれました! 今回の活動の様子は、UHB(北海道文化放送)の番組でも紹介されました。内容はYouTubeでも公開されています。